

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 2 月 28 日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部 (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2024 年 1 月 31 日
明治大学卒業予定年月	2024 年 9 月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	中国文化大学 (日本語名) 中國文化大學 (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/ 中国語・英語
留学期間	2023 年 2 月～ 2024 年 1 月
留学先大学で在籍した学年	4 年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 日本語学科 (現地言語での名称): 日文系 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他: 日文系に所属するが、全ての学部の授業を受けれる
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月上旬～ 1 月中旬 2 学期: 2 月中旬～ 7 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 2 万人
創立年	1961 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (1元=約4.5円)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため、支払わない
宿舍費	3万7809円	17万140円	学期ごとに払うが、月換算すると3150円 (約1万4200円)
食費	8万4500円	38万250円	基本外食・大学近くのご飯屋さんは安い
図書費	1020円	4590円	教科書・後半は買わずに友人に借りたりした
学用品費		円	
携帯・インターネット費	6100円	2万7450円	大哥大を利用した
現地交通費	1万4600円	6万5700円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1万3400円	6万300円	
被服費	1万5200円	6万8400円	
医療費	0	0円	保険から
保険費		15万9320円	形態：海外保険旅行(12ヶ月)・明治指定の 保険
渡航旅費	1万8000円	約8万1000円	
ビザ申請費	1000円	4500円	
雑費	1800円	8100円	
その他	1万1000円	4万9500円	日用品(布団なども含む)
その他	1万7600円	7万9200円	旅行費・国内旅行・ベトナム旅行
合計	約25万元	114万5850円	

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地: 成田 目的地: 桃園 経由地:	
復路 出発地: 桃園 目的地: 成田 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: タイガーエア 料金: 4万8060円 復路 航空会社: ピーチ 料金: 約3万2000円	∴合計: 約8万60円
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: それぞれの公式サイト)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: 大雅館)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 最大 6人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:	
交換留学生には、大学が自動で用意してくれるため、なにもやってない。	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
日本人は日本人同士の部屋にしてくれる。私は前半は、同じタイミングで1年留学するほかの二人の日本人と、香港とマカオから来た正規留学の学生との5人部屋だった。後半で新しく来た日本人交換留学生は、6人で同じ部屋になっていた。中国語を話すためには、台湾人やほかの国の人と同じ部屋にしてもらえるか、あらかじめ聞く必要があるかも。	

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所: 現地の病院)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

台湾は治安が良く、何もトラブルは起きなかった。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

台湾は携帯通信費が安いので、途中から使い放題を購入したため、不便はなかった。寮の Wi-Fi も安定してるし、街中でもいっぱい Wi-Fi ある。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行口座をコンビニで引き落とせるとネットに書いてあったので、3 つの口座のカードをもっていったが、結局そな銀行のデビットカードでセブンでしかおろせなかった。手数料は毎回 100 元取られるので、月に 1 回まとめておろした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特にない。日本の商品もたくさんあるので、だけど日本で買うより高いので、スキンケア用品や化粧品などは日本から持っていくほうが良いと思う。生理用品とかは、わざわざ日本からもっていかなくてよかったなと後悔してる。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

負担型ではないので、支払ってない。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
高級/進階/初級 中文 語法/會話/閱讀	
科目設置学部・研究科	教務處
履修期間	秋学期・春学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回
担当教授	
授業内容	語法は教科書や先生自作のテキストなどを使い、講義を受ける。 会話は、毎週グループを組み、発表する。 閲読は、教科書を使って授業。
試験・課題など	会話はいつも通り発表するが、期中と期末は点数が高い。それ以外は筆記テスト
感想を自由記入	文化大学が留学生向けに用意している授業。中国語を体系的に学べるわけではないので、自分で勉強する必要があった。ほかの国から来た留学生と知り合える良い機会になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
探索宇宙		宇宙探索	
科目設置学部・研究科	通織		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	黄麗錦		
授業内容	英語の授業。中学理科と高校の地学で習う宇宙の知識 + α というかんじの授業。		
試験・課題など	中間と期末がある。オンラインでできるテスト対策をすれば点数は取れた。		
感想を自由記入	宇宙はもともと好きなのでとった。専門用語なので英語ではわからない ことも多かったが、日本語で調べたら絶対出てきたので、調べながら受講した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
観光学研究		観光学研究	
科目設置学部・研究科	国際商学部の院生用		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義と生徒の発表 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回		
担当教授	浦心蕙		
授業内容	前半は先生が観光学の知識や文献や統計などの調べ方を教えてくれる。後半は生徒が関心のあることを発表		
試験・課題など	プレゼンテーションをもとに成績がつけられる		
感想を自由記入	先生が優しくて、院生に混じってたのもあり、心配してよく声をかけてくれた。発表は原住民と観光についてにした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
日語翻訳(中訳日)		日本語翻訳(中国語を日本語に)
科目設置学部・研究科	日本語学科	
履修期間	春	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回	
担当教授	方向洲	
授業内容	日本語学科の台湾人と混ざって、中国語を日本語に翻訳する。予め提示された課題をやっておいて、先生に提出する。	
試験・課題など	毎回課題がある。試験も翻訳。	
感想を自由記入	結構中国語の勉強になった。また、日本語を客観的に見る機会になり、面白かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
原住民文化認同		原住民文化を知る
科目設置学部・研究科	社会通識	
履修期間	秋	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回	
担当教授	林世棟	
授業内容	台湾の原住民の説明やほかの国との文化の違いなど。	
試験・課題など	毎回、板書したものを提出する。テストは、自分の意見を書くもので、事前の勉強は必要なかった。	
感想を自由記入	先生が日本語も少しわかるおじいさんで、気にかけてくれた。全部中国語なので、話は難しく感じたが、前に書いてくれるのである程度理解できて助かった	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
媒体と文化研究		メディアと文化	
科目設置学部・研究科	新聞学部		
履修期間	秋		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	郭文平		
授業内容	全英語の授業 メディアが文化に与える影響について		
試験・課題など	試験は期末にグループを組み、プレゼンテーションをする。日本人 3 人でグループを組んだ。		
感想を自由記入	既に知っていたこともあったので、英語で受講しやすい授業だった。プレゼンでは、私の発案でスーパー歌舞伎について話した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
日本現勢		日本の現状	
科目設置学部・研究科	日本語学科		
履修期間	秋		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	塚本善也		
授業内容	日本語の授業。日本の時事問題やニュースを話してくれる。		
試験・課題など	日本か台湾のニュースを発表		
感想を自由記入	台湾の大学生の関心がどこにあるのか知れてよかった。また、一人では日本のニュースに触れる機会がほぼなかったので、常に日本のニュースを知るいい機会になっていた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
日本近代文学導論		日本近代文学への道	
科目設置学部・研究科	日本語学科		
履修期間	秋		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	齋藤正志		
授業内容	日本の近代文学の派閥やその作品や流派が生まれた時代背景などを知れる		
試験・課題など	授業のまとめ的な内容が、期中、期末テストになる。		
感想を自由記入	結構面白かった。日本人にはテストがとても簡単だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
日本史		日本史	
科目設置学部・研究科	日本語学科		
履修期間	秋		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	林孟蓉		
授業内容	先土器時代から江戸時代までの日本史。だいたい中学日本史のレベル。全部中国語		
試験・課題など	暗記してきて、テスト		
感想を自由記入	日本史の内容は知っているのですが、中国語のリスニング練習の時間になって良かった。先生がオタクな話に絡めると、生徒が大盛り上がりしているのが面白かった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 院進に向けて準備
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
院進を考えている。文化人類学を専攻しているため、台湾の福祉と仕事をテーマに卒論を書いた。留学をしたからこそ、書けた内容だと思うので、多くの時間を費やしてしまったが、完成させることができてよかったと思っている。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	12/16 ワクチン・
留学開始年	1月～3月	1/13 ワクチン・1/17 ビザ申請 2/4 渡航・
	4月～7月	5月上旬 中間テスト・6月中旬 期末テスト・6月下旬～夏休み
	8月～9月	7月中旬～4週間だけ語学学校へ・日月潭ベトナム旅行 9月中旬秋学期
	10月～12月	11月中旬中間テスト・1月中旬期末テスト
留学/帰国年	1月～3月	1/31 帰国・3/31 HSK 受験
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

中国文化大学について；

台北駅からバスで 40 分くらいで、台湾では有名な陽明山という山の上にある大学です。標高が高く、寮から見える景色がとても綺麗で、すごく好きでした。山登りが好きなのもあって、台北で標高の一番高い山に割と簡単に行けたりして、自然の中で暮らしてみたいと思う人には良い環境だと思います。ただ風が強く、冬は体感温度がめっちゃくちゃ低くなるので注意が必要です。食事は、大学の近く、というかほぼ隣に、美食街という朝ごはん屋さんから、台湾料理、日本式料理（日本人にしてみれば、台湾式日本料理）、中華料理、韓国、ベトナム料理屋さんなどが集まった小さな街があって、食事も毎回楽しかったです。

留学全体について；

台湾の歴史や文化に興味を持ち、留学を決めました。1 年暮らしてみたことでしかなかった台湾の良さをたくさん感じる事ができたと思います。歴史の複雑さから作られる多様性が、台湾の人たちのおおらかさに繋がっているのではないかと感じ、それはあまり日本では感じられないような空気感でした。台湾の歴史や文化、民族的な多様性について、少しでも知ってから留学に行くと、ふとしたところで色々な発見や気づきがあって面白いと思います！（「台湾の歴史と文化」という本がおすすです）